

平成23年1月31日
高知県文化生活部鳥獣対策課

野鳥における高病原性鳥インフルエンザの確認について

平成23年1月25日に高知県仁淀川町において発見されたオンドリについて、本日、詳細検査の結果が判明し、高病原性鳥インフルエンザウイルス・強毒タイプが確認されました。

経緯等は以下のとおりです。

○主な経緯

- 1月25日 飛べない状態のオンドリを発見したとの連絡。
- 1月26日 現地にて保護し、死亡後、中央家畜保健衛生所に移送。簡易検査は陽性。
検体を鳥取大学に移送。
- 1月31日 詳細検査により H5N1 亜型陽性・強毒タイプが確認される。

なお、今後、県では、特に発生地周辺半径 10km 圏内の地域について、引き続き野鳥の監視を強化してまいります。

鳥インフルエンザウイルスは、感染した鳥との濃密な接触等の特殊な場合を除いて、通常では人には感染しないと考えられています。日常生活においては、鳥の排泄物等に触れた後には手洗いとうがいをしていただければ、過度に心配する必要はありませんので、冷静な行動をお願いします。

問い合わせ先

高知県文化生活部鳥獣対策課

直通：088-823-9039

県庁代表：088-823-1111

担当：岡村、森本、門脇